

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2019年3月25日

事業所名：放課後等デイサービス ファイト

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・活動内容により広い施設などを利用するようにしています。 ・クールダウン用に個室があると更に良い。 ・周囲の状況によって室内での活動が困難な人の為の区切られたスペースが欲しい。	・確保されている。 ・どちらでもない。	状況に応じたスペースの利用をしていますが、活動の支障になる様な物は排除し、より良い療育ができる環境整備に努めます。	
	2 職員の適切な配置	・定員に対して、職員配置が不足している。 ・トイレ介助の必要な方が集中する日などは全てに目が行き届いていないと感じることがある。	・適切である。 ・どちらでもない。	早急に職員の確保ができるよう、動いていきます。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・玄関入り口の段差が気になります。 ・施設の老朽化、破損等による設備が不十分な時期がありました。 ・段差があるところは、わかりやすく印を示して配慮している。 ・入口や室内の適切な場所にスロープがあると良いと思う。トイレは支援者が介助するにはスペースが狭いと思う。手すりがあるとより良いと思う。	・適切である。 ・どちらでもない。	玄関段差部分・トイレへの手すり配置、入口や室内のスロープ配置等、今後改善できるようにしていきます。	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・会議や朝礼等で、支援内容について話し合いを行うように心がけている。 ・日々の支援の振り返りは職員間で随時行っています。 ・PDCAサイクルの活用の仕方がよくわかりません。		今後も会議・朝礼等で共有していき、PDCAサイクルの活用については研修等行い、職員の理解が深まるように努めます。	
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現状、第三者による外部評価は行っていません。		今後第三者の外部評価の導入を検討していきます。	
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・研修には参加させて頂いている。 ・年1回の法人内研修と協議会からの研修等、参加しています。		引き続き、研修の機会を確保し、職員の資質向上を図りたいと思います。	
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	面談や日頃の申し送りを通して、課題点等を共有し、計画作成するよう努めている。		課題を職員で話し合い、今後の業務改善に繋げていきます。	
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した。放課後等デイサービス通所計画を策定しています。	・連絡帳を見た時は、印鑑でもいいので印をつけて欲しい。何日もそのまま連絡しても見てもらっていないのか、わからない時がある。	親御さんに安心して頂けるよう、改善します。	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	計画等での必要な項目を設定し、連絡帳にその日に記載を行っています。		親御さんに安心して頂けるよう、改善します。	
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個々の計画に即した支援を実施し、定期的に指導員会で見直し等を行っている。	されている。	引き続き行っていきます。	
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・会議等で検討、作成を行っている。 ・職員間で意見を出し合いプログラムの立案を行う。 ・担当している行事等は個々で計画を立て、他のスタッフの意見をうかがっている。		引き続き行い、職員で連携し進めています。	
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・イベントに参加したり、長期は曜日ごとに活動を設定していただいているので、それぞれ計画を立てて行っている。 ・長期休み前の指導員会では、計画的にご利用者が楽しめる内容の支援が検討されている。	・子どもはとても喜んで通っています。 ・とてもよくて頂き、満足しています。 ・安心して過ごせる場所があって大変助かっております。いつもありがとうございます。		児童が安心して楽しめる環境づくりを、引き続き継続していきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・ご利用者の状況により、プログラムの見直しを行っている。 ・季節に応じた掲示や作品、クッキングなど工夫がなされている。		個々に合わせた複数準備ができるように、配慮していきたいと思えます。	
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・送迎に出る前に確認事項や注意事項についての打ち合わせは行っている。 ・朝礼等を利用している。		今後も情報共有を徹底し、継続していきます。	
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・送迎時、自分に対応したご利用者の気づいた点は他のスタッフへ伝え、それ以外のご利用者のことは、対応したスタッフへ聞くようにしている。 ・送迎や勤務時間の関係で全員での打ち合わせはできていない。		連絡ノート等による引き継ぎ確認と支援の振り返りを検討します。	
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・支援記録票に記載、月報で状態把握を行う。 ・送迎中にあつたことなどは、他のスタッフが記録した内容に追加して書くようにしている。		今後も記録の徹底を意識し、継続していきます。	
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	年2回実施している。		今後も継続していきます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理責任者及び担当者が参加するように対応している。	担当して、状況把握や説明の仕方など、まだまだ勉強が必要と感じる。努力していきたいと思う。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当ご利用者なし。	現在は該当児童がいませんが、該当児童の利用があった場合、対応していきたいと思います。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当ご利用者なし。	現在は該当児童がいませんが、該当児童の利用があった場合、対応していきたいと思います。	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・保護者様及び相談支援事業からの情報が主である。 ・中高生対象の為、相談支援事業所等に協力を求めている。	引き続き他機関と連携し、必要に応じて情報も共有させていただきます。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	移動先の要請に応じて、保護者様許可のもと、提供を行っている。	個人情報の取り扱いに留意しながら行っています。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・こども医療センターから助言を頂いている。 ・発達障害者支援センター専門機関の方と連携し、助言を受けている。 ・困難事例について「しおさい」より助言を頂いた。	引き続き、専門機関と連携していきます。必要に応じて、職員に研修情報等を提供し、意欲的に参加できる体制を確保できるよう努めていきます。	
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	公園で遊ぶ機会があった。	・機会がある。 ・どちらでもない。	今後は、もっと活動する機会を作りたいと思います。どのようにしたら接点を持てるのか、他の事業所の事例等があれば参考になります。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域イベントへの参加はあるが、招待するほどの行事を現在は行っていません。		開かれた事業の運営を行えるよう、今後は交流の場を開いていきたいと思っています。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	施設内掲示・利用契約時に重要事項説明書の説明を行っています。	・されている。 ・どちらでもない。	今後も継続していきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	現状保護者様にも面談等で詳細をご説明しています。		契約時に配慮しながら説明していきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者様向けの勉強会を計画していきたい。		・ペアレントトレーニングが普及して、今後、定期的にサービスができればと思う。知識・研修が少ないので、実施していきたい。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	帰り送迎や保護者のお迎えの際、ご利用者の様子をお伝えして、ご家庭の様子について尋ねるようにしている。	共通理解ができている。	今後も徹底していきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・相談に関しては相談票を作成。適切な支援が行えるように努めている。	・行われている ・どちらでもない	相談等があれば随時対応できるよう、これからも務めてまいります。対応できる職員が増えるよう個々のスキルアップにも取り組んでいきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在休止状態です。	わからない。	今後は保護者会等を行っていきたく考えています。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情受付担当者や第三者委員を設けて、迅速に対応できるようにしている。	苦情になったことがあったか、思い当たりません。	今後も、迅速に対応できるよう努めていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	利用者が話していたこと等で必要と思われた内容は保護者様へ伝えている。	なされている。	・言葉で発することが難しい利用者の場合は文字盤や絵カード等の使用を検討し、わかり易く、丁寧な対応を行っていきたく思います。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月、通信を作成し保護者様へお渡ししている。	・発信している。 ・どちらでもない。	引き続き、継続していきます。より良い情報を提供していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に書面での説明を行っています。	・なされている。 ・どちらでもない。	今後も流出等がないように十分注意をしていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・対応マニュアルは策定し職員に周知はできていますが、保護者様まで周知できていません。 ・利用者にインフルエンザ感染が出た場合は、保護者様へ注意を呼び掛けています。	わからない。	職員間での周知は出来ているが、マニュアル自体を保護者の方に周知することは出来ていないので、今後取り組んでいきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回の避難訓練実施	実施内容がどのようなものか詳細がわからない。	訓練は行っていますが、今後は現在の訓練内容で十分に機能するのか考えていきたいと思っています。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止研修等に参加している。		今後も研修を確保できるように努めていきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	面談時に説明を行い、理解を得られるよう努めています。同意していただいた後に同意書に署名捺印をいただいています。		今後も理解を得られるように努めていきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者様から情報を頂き、利用開始前に食物アレルギー有無の確認を行っています。アセスメントを確認し、おやつ等の原材料には注意しています。		今後も保護者との連携を密にし、確認していきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ファイルを作成している。		ファイルを作成しているが、十分な活用はできていないように思うので、今後は共有し徹底したいと思う。